

## 第2課

# あさ せい よう 朝の整容



あさ お 朝起きたら、かお 顔を洗ったり、は 歯をみがいたり、かみ 髪をとかしたりします。み 身だし  
なみを整えて、とどの 気持ちよく一日を始めましょう。

### ◆パート I の B

「自分でできる人には、自分でするようにいます」とありますが、自立支援介護は、とても大切です。以前の介護は、できないことを補完する「お世話をする」という考え方に立っていました。しかし、時代とともに介護の在り方は変化し、介護を必要とする人が自主的に、自分らしく生活できる「自立」を大切にしたい支援を重視するようになってきました。

### ◆パート II の D 介護士が爪切りをすること

パート II の D では、介護スタッフが利用者さんに爪切りを勧めており、自分で爪を切るという設定になっています。爪切りに関しては、2005 年に、健康な爪に関しては、「介護スタッフが切ってもよい」ことになりました。

### ◆覚えておきたい「顔のことば」

#### \* 「こめかみ」って言うのはなぜ？

目、鼻、口などは、初級で学んでいますが、「額」「顎」などは出てきませんので、ここで出しました。それも、言葉だけを出すのではなく、「福笑い」を使ってみました。何かの折に、やってみるのもいいですね。

「こめかみ」ですが、なかなか本などには出てきませんが、覚えておくといいと思い、リンさんの疑問にしてみました。こんなふうに答えてみてはいかがでしょうか。

皆さん、噛む時、口が動きますね。他に動いているところがありますか。  
そうです！ ここが動きますね（指さす）。

日本人の主食はお米。昔は、固い生米を噛んでいたもので、よ〜〜く噛むことが大切でした。それで、ここが「こめかみ」と呼ばれるようになりました。

#### ◆エピソード：2課から生まれた「留学生介護短歌」

最初、介護百人一首（NHK）を引用していたのですが、出版社から「できるだけ自作の句や歌にして、引用は無しにしたほうが良いのではないか」という意見をもらいました。そこで、トイレ川柳も他の川柳もオリジナルのものとなりました。

「介護短歌は、いったいどうしようか」と悩んだ私は、四国大学の元木佳江さんにご相談をしました。すると、元木さんは介護の専門家：小倉さんに相談し、お二人でなんと半月という短い期間で、12首の短歌を集めてくださったのです。詳しくは、本書の159ページをご覧ください。

その中に、こんな短歌があります。

利用者さん 朝起きてから 身だしなみ 整え今日も いい一日を  
(チー・ベトナム)

実は、チーさんは、日本に来てからお寿司屋さんでアルバイトをされており、まだ介護施設で働いたことがありません。そこで、授業中に「短歌づくり」の基本を習い、いよいよ「介護短歌」を作る段になって困ってしまいました。先生とこんなやり取りが交わされたのだそうです。

チー「先生、私は、介護施設で働いたことがないので、介護の短歌は無理です。」

小倉「そう、まだ働いたことないよね。でも、この本で勉強したでしょ。この場面を見て会話を考えて、作ってみたらどうかなあ」

チー「あっ、そうですね。分かりました」

こうして生まれたのが上の短歌です。2課のリード文を見てください。

朝起きたら、顔を洗ったり、歯をみがいたり、髪をとかしたりします。身だしなみを整えて、気持ちよく一日を始めましょう。

「身だしなみ」と「整える」が出てきます。また、「身だしなみ」は、パートⅢのGにも出てくる言葉です。これらを使って、みごとに短歌をつくりあげたのです。